

会報

第12号

協議会事務局

PHS:080-3497-2049・045-961-2513

会長 井本史夫

発行者

平成20年8月27日発行

青葉区ねことの暮らしを考える協議会

活動レポート (H20春～H20夏)

第7回「定期総会開催」(6月10日)

会員、来賓の方々に列席していただき、総会を開催いたしました。19年度の行事、決算報告と20年度の予算案承認など、例年通りの議事に加えて、役員の変更も承認されました。

今期 新役員 (平成20年度～)

会長	: 井本 史夫	井本動物病院 院長
事務局長	: 川崎 康宏	ピュア動物病院 院長
会計理事	: 堀川 智生	ベルジェ藤が丘動物病院 院長
理事	: 太田 成江	神奈川捨猫防止会
理事	: 三橋 米子	かながわ野生動物サポート ネットワーク会員
理事	: 加藤 賢郎	青葉区保健活動推進委員会 会長
理事	: 日向 千絵	ニュータウン動物愛護会
理事	: 小林 尚子	神奈川捨猫防止会
理事	: 山下理恵子	新荏田ねこ連絡会 代表
理事	: 長澤 恵子	神奈川捨猫防止会
理事	: 瀧口 純子	青葉区保健活動推進委員会 副会長
理事	: 井上満知子	キャットメイト
理事	: 斉藤 正美	キャットメイト
理事	: 土志田聖二	青葉区保健活動推進委員会 副会長
顧問	: 野村 良信	青葉福祉保健センター長
顧問	: 鈴木 憲太	青葉区獣医師会 会長
参与	: 横溝 力男	青葉区福祉保健センター 生活衛生課長

区民祭り 健康フェスティバル

11月3日(文化の日) 今年も参加します。

詳しくは広報青葉10月号にてお知らせします。

- 協議会オリジナルグッズ販売
- バルーンアート
- 猫ちゃんと写真を撮ろうコーナー

商品の売り上げは全て不幸な猫を増やさないための活動資金(不妊・去勢手術など)にあてられます。

「小さな命を救える幸せ」

青葉区在住 衆議院議員 岩國 哲人

ロンドン、パリ、ニューヨークと、世界の三大都市と呼ばれる市に家族と住んできました。どの国でも身近な動物といえばネコとイヌ。子供もお年寄りも動物を可愛がり、迷いネコがいればそれを助け、小さな命を救った喜びを味わい、その小さな命と共に生きる幸せを手にしています。

そういう国の人々を観察して日本に帰国し、新しい発見をしました。

ライオンが歯ブラシを作り、キリンがビールを売り、カメの子がタワシを作り、ゾウがお湯を沸かし、タイガーがお湯を温めます。トンボが鉛筆を作り、クロネコがお歳暮を届けて、ペリカンが引っ越しの手伝いをします。・・・いろんな動物が日本ほど活躍の場を与えられ、子供に親しまれている国は世界でも例がありません。

私の身近な例ですが、ワンちゃん、ネコちゃんの命を救うために、出雲市長時代には保健所に保護拘留されている犬・猫を引きとってくださる方をさがしたいと思い、ある日曜に保健所をオープンし、多くの方に呼びかけて家族づれで来てもらいました。

それぞれの家族との出会いをさせて、それならこのワンちゃんネコちゃんをというところで、私が命名しました。命名札とネコちゃんのご家族と私が一緒に記念写真をとりました。

ハナコとかビクターとか、市長さんに命名してもらったんだと子供たちが喜び、おそらく近所の人たちにも自慢して大切にもらえるだろうと思ったからです。

市長としていろいろな町内を訪問する時には、ついでにその家族とネコちゃんを訪問します。

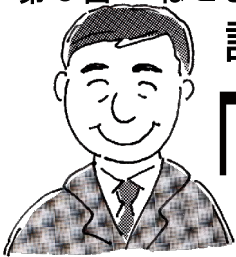
家族総出で家の外にまで出て来て、「レオちゃん、よかったね、市長さんが来て下さったよ」と大歓迎されると、あアここにも小さな命がしっかりと幸せに生きているのだと感動し、私までが幸せを頂いてしまいました。

楽しさいっぱい!!
みんなで遊びに来てね



講師：井本 史夫 先生

獣医師・井本動物病院院長
(資)家庭動物総合研究所所長
東京農業大学非常勤講師
青葉区ねことの暮らしを考える協議会会長



「猫の一生・・・」

わかりやすく ためになる そしてとても楽しい講演でした。お話の一部をご紹介します。

子猫時代

誕生から2ヶ月間は お母さん猫や 同腹子猫達と過ごす事が大切です。
2~7週期は**感受期** 刺激の少ない所で育った猫は神経質な猫になってしまいます。たくさんの人や 他の動物に会わせたり、音や光にも慣れさせる事で社交的な猫に成長します。人間がよく遊んであげる事も忘れずに。

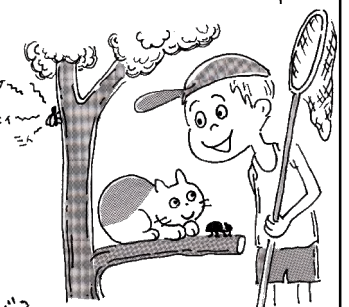


猫の性格は飼主の性格や動作に影響されます。



私は小学生のころ猫の手をかりました。

- ❦ 朝 起こしてくれる
- ❦ 夜寝つくまでついていてくれる
- ❦ 帰宅時はでむかえに
- ❦ 夏は昆虫採集の手伝い
- ❦ 冬はコタツ代わり
- ❦ 雨の日の遊び相手



猫の行動は天気になんかされます。



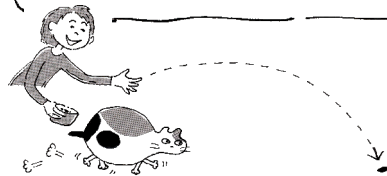
猫の手をかりるコツは・・・

- ① 無理じいしない ② よく遊んであげる
- ③ 大声や大きな音を出さない (猫は大きな音が大好き)
- ④ しからない (猫の行動を変えてはいけません)

近ごろは太った猫が多いですね。

ダイエットさせるには無理しない事

- ・ いままとえている食事の量の5%を減らし1ヶ月続ける。次の月 又5%を減らし 1ヶ月続ける
- ・ 食事の1日分量を決め、1粒づつ投げて走らせる。(運動にもなり、狩猟本能も満足！)



絶食はいけません
病気になって
しょう事も。

老猫になると

猫も人間と同様に
・ 活発さがなくなり
・ 記憶力の消失
・ 集中力の低下
・ 注意力の減退
などがおこります。

睡眠時間が増え
やたらと大きな声で
なくなどの異常行動
がみられる事もあります。

歯周病、腎臓病
便秘などが
多くなります。

臭覚も衰えるので
食事は あたためる などして
強いニオイにしてあげると
食欲がわきます。



体は毎日チェックしましょう！

表から見えるところだけでなく
口の中、腹、おしり、耳の中などもお忘れなく。
体をさわる事で 体の油分の
チェックにもなります。

ア！？ いっとく違うな
と思ったら、早目の対処が大切です。

先生の診察した最高齢の猫ちゃんは 何と28才ですって！

長生きはスバラシイヤ～
しかし飼主さんにとつては
イロイロ大変な事も・・・
ボク達の生涯は
飼主さん次第にヤ



幸せな人生(猫生)のため 飼主のみならず
どうか よろしく お願い致しますニャ

毎月第2水曜日

楽しい

キャットメイト交流会

大好評

- 当協議会オリジナルTシャツ
 - 手作りトールペイント小物
 - めいぐるみ
 - 缶バッジ
- などの販売をします。



平成21年2月のキャットメイト交流会は第2水曜日が祝日のため一週繰り上がって4日(水)になります。お間違いのないよう。

時間: 午前11:00～午後5:00

場所: 青葉区役所102会議室
(ロビー売店の横)

当日出席予定の先生方

9月10日 (水)	ベルジェ藤が丘動物病院院長 堀川智生 先生
10月8日 (水)	井本動物病院院長 井本史夫 先生
11月12日 (水)	ピュア動物病院院長 川崎康宏 先生
12月10日 (水)	ベルジェ藤が丘動物病院院長 堀川智生 先生
1月14日 (水)	井本動物病院院長 井本史夫 先生
2月4日 (水)	ピュア動物病院院長 川崎康宏 先生
3月11日 (水)	ベルジェ藤が丘動物病院院長 堀川智生 先生

先生のご都合により、急遽変更になる事があります。4月以降の日程につきましては、また追ってお知らせ致します。

お問い合わせ
協議会事務局 電話: 080-3497-2049
青葉福祉保健センター生活衛生課
電話: 978-2463~4

スタッフ、獣医師を交え、猫に関する日頃の悩みや健康相談など、ざっくばらんにおしゃべりしながら楽しい時間を過ごしましょう。

キャットメイト以外の方もご参加いただけます。皆様お誘い合わせの上お気軽にご参加下さい。

ご都合のつく短時間の参加でもオーケーです。

手作りの好きな方は、トールペイント・ネコの置物・缶バッジ作りにもチャレンジしてみませんか?
誰にでも簡単にできます。



当協議会は

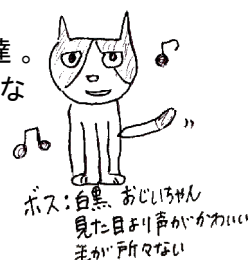
横浜市より、「青葉区役所と協働事業等をつながりのある区民団体である。」と指定され、売上金のすべてを不幸な猫を増やさないための活動資金(不妊・去勢手術など)にあてることを条件として、区役所102会議室にて商品の販売を行っています。

猫にパワーをもらっている私

キャットメイト 福田 麻理子

私はバイクで配達の仕事をしている。そして猫たちに出会ってしまった。その日から猫達が気になり 毎日餌をあげ始めた。以前はコソコソと餌をあげていたが、今ではキャットメイトになり、不妊手術も受けさせ餌も堂々とあげている。

雨の日も 暑い日も 寒い日も 私のバイクの音で迎えに来てくれる猫達。その中にボスと言うお爺ちゃん猫がいる。ある日突然猫達の中に現れみんなの餌を食べる。そんなボスは病気がちで この夏姿を現さなくなった。心配していたけど、半分諦めかけたある日ひょっこり姿を現したのだ! とても嬉しかった。ボスが甘え上手な猫ならギュッと抱擁したいとこだけど残念ながら奴はシャイだ。そして又 最近いない日が続いている.... 今度現れたら、抱擁は無理でも撫撫させてもらう予定だ。



横浜市では、健康な犬と猫（ノラ猫含む）あわせて2,500頭を対象に不妊・去勢手術料金の一部（5,000円）を助成します。

本年度から申し込み方法が変わりましたので、ご注意ください！

ノラ猫も対象に！
頭数も500頭増加！

■対象は

- ・年齢20歳以上の横浜市民が手術費用の助成を希望する犬又は猫（ノラ猫含む）
- ・手術実施時に、生後6ヶ月以上で健康であること
- ・犬は登録及び平成20年度狂犬病予防注射が済んでいること（未登録、未済の場合、対象外）

■注意

- ・申し込みをされる前に実施した手術は、助成の対象外となります。
- ・助成対象となる動物病院は、（社）横浜市獣医師会会員の動物病院です。

■お問い合わせは

- ・横浜市健康福祉局食品衛生課
動物保護管理係 Tel: 671-2467
- ・（社）横浜市獣医師会 Tel: 751-5032

■お申し込みは

- ・居住区福祉保健センター生活衛生課

■手術は

- ・（社）横浜市獣医師会会員の動物病院



申し込みは

6月2日（月）から居住区生活衛生課窓口で随時受け付けています。

ご近所へのお知らせ

理事長 澤 恵子

手術後のご近所へのお知らせの大切さを改めて感じました。

今回手術した猫はテリトリーが広く、月に一度くらいしか会えず、どなたが餌をやっているかも不明。出会った頃は、私の顔を見ると途端に逃げ出す猫でしたが、何度か声をかけ餌を与えたりするうちに仲良しになり、捕獲成功！手術後はご近所に手術済のお知らせのチラシ（当協議会作成のものに、耳カットの説明をプラス）をポスティングしました。

耳カットが虐待と誤解されないように、猫のテリトリーと思われる領域、150軒に配りました。膝痛持ちの私には少々大変でしたが、配布している時に、何人かの方には直接、不妊手術のメリットや耳カットの説明をすることができ、意外とすんなりご理解と感謝の言葉をいただくことができました。

手術4日後「この頃オシッコの臭いがしなくなったわよ」と言ってお下さる方もいて、疲れが一気に吹っ飛びました。

私達が猫について一通りわかっていることでも、ご近所の方達には知らないことが多いもの。

知らないために誤解が生じ、猫が嫌われる原因にもなります。

人も猫も平和に暮らせる町にするためには正しい知識を広めることが何よりも大切だと感じました。



「〇〇町のみなさまへ」 外で暮らす猫たちからのお願い

僕たち・私たちは去勢・不妊手術が済んでいます
だからもう、発情期に大きな声で鳴いたりしません
臭いつけのおしっこを、かけてまわったりもしません
これ以上、仔猫が増えることもありません。
世話をしてくれる人がいるから、ゴミをあさったりもしません

それでも、外で暮らす猫たちの寿命は長くて数年です...
その数年を、子供たちの友だちとして、〇〇町の一員として
静かに暮らしていけますよう、温かい目で見守ってやって
いただきたく、どうぞよろしくお願いいたします。

「青葉区ねこの暮らしを考える協議会」

080-3497-2049

※ 当協議会は、青葉区が制定した

「青葉区ねこの暮らしガイドライン」を推進しています。



↑..... このチラシと詳しい使用説明文をご希望の方は事務局まで

賛助会員並びにご寄付の御礼（平成19年度分）

賛助会員

- | | |
|-------------|--------------|
| ・青葉区食品衛生協会様 | ・仏教平和会延命地藏尊様 |
| ・森久保薬品株式会社様 | ・イソップ薬品株式会社様 |
| ・大日本住友製薬（株） | ・ファイザー株式会社様 |
| アニマルサイエンス部様 | ・日本全薬工業株式会社様 |

ご寄付

太田和道様 小汀京子様 酒井一重様 小野寺絹様
リバーサイドキャッツクラブ様 岩國哲人・欽子様 三枝靖子様
市川知嘉子様 山本志津子様 鈴木美子様 間中悦子様

募金総額¥208,591— 多額の賛助、ご寄付をありがとうございました。（各動物病院設置の募金箱を含む）

不幸な猫を増やさないための活動資金（不妊・去勢手術など）はまだまだ足りません。当協議会ではこれからも猫との共生を目指し、活動を続けてまいります。皆様の温かいご理解とご支援をお願い申し上げます。

各種お問い合わせは事務局まで